



VOL.34 2021.09.22

普及コーディネーター取り組み事例紹介①

静岡県

渡邊 亜紀さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

静岡県は地域を5つに分け、各地域にもなでしこ普及コーディネーターを配置し、サッカーファミリー拡大に向けて取り組んでいます。新型コロナウイルス感染拡大の影響で今後開催出来るかわかりませんが、各地域毎にフェスティバルを企画し、お住まいの地域で参加しやすい環境を考えています。お母さんがサッカー好きであれば、子どもがサッカーをする可能性や環境も更に広がるといいますし、コロナ禍で運動をする機会も少なくなっている中で、親子や家族で楽しめる機会創出もポイントになるのではないかと思います。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ<世代を超えてサッカーを楽しむ環境作り>

活動拠点となる地域の、指導者同士の繋がりを持ち、各サッカーチームの選手が指導を行う事で憧れの存在にもなり、選手にも学びの機会となります。参加者だけでなく、指導する側も含めたサッカーファミリー拡大にも繋がるでしょう。活動縮小を余儀なくされる中でも、世代を超えてサッカーを楽しむ環境を作れるよう、良いモデルを作り出せるようトライ中です。

今年度の事例を紹介すると『藤枝市で、月2回日曜日の朝8時～9時、年中～小6までの女の子達を対象にしてなでしこひろばを実施。藤枝順心高校サッカー部選手がメニューを考え指導を行っています。この経験は、高校選手達にもとても勉強になっています。スタッフの中には、かつて同ひろばや順心サッカーで育った選手達もいます。また今年度から、世代を広げた活動も行い、母子サッカー交流も実施。世代を超えて楽しむ環境の場となっています。』

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

サッカーファミリー拡大や、女子サッカーをもっと気軽に身近な存在に出来るよう、自治体との関わりが非常に重要であると思います。今後、フェスティバルなどの案内も、各自治体にも協力をお願いしたり、広報や地域たよりに掲載いただく事で今までとは異なる繋がりや広がりが出来るのではないかと考えており、模索したいです。また、サッカーを通して「女性の輝く社会」への貢献もしていきたいと思っています。

【今後の目標】

今後はフェスティバル事業の充実、中学生年代(特に3種登録・未登録選手)の把握に重点をおき、取り組んでいきたいと思っています。そして、各地域での好事例の共有や、新しい視点や関わりを持ち、世代や垣根を超えたサッカーファミリー拡大が出来ると良いと思いますし、もっとすべきだと感じています。また、サッカーの持つ素晴らしい力を、もっと多くの人に繋ぎ広げていくように考えていきたいです。



普及コーディネーター取り組み事例紹介②

愛知県

大畑 真樹さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

愛知県の登録人数は、大学や高校の女子サッカー部の充実や3種・4種男子クラブチームによる新規女子チーム立上げなどもあり、少しずつですが少女～女子一般まで増加を継続しております。昨年からの新型コロナウイルス感染による影響を受け、フェスティバルの開催や運営においてとても厳しい状況が続いておりますが、女子委員会では、継続して普及事業を開催し活動しております。今後の課題は、キッズやU12の低年齢層への積極的なかわりとフットサルとの連携も考えて行く必要があると思っております。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ<かわりの拡大と強化>

重点的に取り組んでいることは「かわりの拡大と強化」です。フェスティバルなど積極的に色々な方がかわる企画の立案や実施に取り組んでいます。

小学生女子を集めたフェスティバル内の練習会を高校女子選手が行い、一緒にサッカーを楽しむゲームができるように開催。なお、参加いただいた高校女子選手への地域協会の審判部による副審の指導を同時に行っていただき、フェスティバル内で練習試合を実施し、審判実践できるように開催。また、4種委員会の協力で、U9県大会においての高校女子選手の審判やイベントの運営の手伝いの実践も行いました。開催するイベントなどに選手や地域協会、各委員会にかかわっていただき開催することが、少しずつですができるようになってきています。そして、昨年度発足した普及部会において、県内の地区委員会にかかわっていただき、フェスティバルを地区の活動としてもらえるよう、部会全体でも調整を進めています。

女子委員会では、若いサッカー関係者（指導者・審判・マネジメント・選手・重点カテゴリー担当者）に集まっていただきワーキンググループを発足しました。普及について意見交換する場として、愛知県の女子サッカーに積極的にかかわっていただき、今後について考えてもらう取り組みをしています。このような取り組みが、女性指導者や審判員の増加、生涯スポーツとしての女子サッカーへの周知へとつながり、愛知FA全体としての普及へのかわりへと拡大できればと考えています。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

普及部会発足により、FA内で地区ごとに6地区普及部員と種別ごとに種別普及部員が選出され組織が構成されました。

現在は女子・キッズ・4種に重点を置き、サッカーを好きになり、継続をして楽しむ環境をつくるために何ができるかを考えて、大会やイベントを各地区協会や種別委員会で開催できるよう、普及部会の一員として活動を推進しています。今年度は対象のイベントを決め、普及部員にかかわっていただき、目標とする地区協会や種別委員会での大会やイベント開催へのきっかけにできるようにと実施を予定しています。

また、指導者養成講習会の場にて、普及部会の説明や普及についての基本的考え方の理解を深めていただけるよう講座を開催。C級コーチ・D級コーチ・4種リーグ講習会などで、普及への理解を得るための活動を進めています。女子だけではなく、キッズや4種と同時に取り組むことでかわりを強化できていると感じています。

【今後の目標】

①中体連所属で活動している女子選手の状況把握と各地区での交流会や練習会、県でのリーグ戦の開催を実現したい。

⇒U18へのつなぎやこれから始まるU18県リーグへのかかわりを目指す。

②キッズとフットサルとのかかわりの強化をするために、普及部会での企画提案などをしていき、愛知FA全体の取り組みとできるよう実現したい。

⇒低年齢層の選手普及、かかわる指導者、審判員の発掘を目指す。

③レディースの交流会の増設、11人制ではなく少人数、ウォーキングサッカーなど方法手段を柔軟にし、開催を実現したい。

⇒生涯サッカーへの取り組みの強化を目指す



普及コーディネーター取り組み事例紹介③

三重県

小澤 亮二さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

このコロナ禍、三重県でも8月25日に緊急事態宣言が発表され、ついには『三重とこわか国体』『三重とこわか大会』の今年度開催も中止となった。その開催県として、「普及」「育成」「強化」の場をアピールする機会の1つがなくなってしまったことは誠に残念なことであるが、こうした局面の中それぞれの歩みを止めず、むしろ加速していく環境づくりを目指し取り組んでいきたい。

<現状>

- ・県全体の競技者数は減少傾向にある中、女子登録者数はわずかに増加（2020年度）。高校、一般チーム数の増加に伴う各カテゴリー選手登録数の増加。
- ・ユース年代増加傾向。ジュニアユース年代ほぼ横ばい。ジュニア（4種）年代減少傾向（4種内女子割合は増加傾向）。Over世代の活躍。
- ・女性指導者の増加（「普及」「育成」各分野での関わり定着、女性指導者の比率の増加傾向）

<課題>

- ・「普及」活動の実施（コロナ禍により開催困難により中止等が続いている）
- ・女性の審判新規取得、上級審判育成環境の醸成
- ・指導者のスキルアップ、女性指導者インストラクターの輩出 他

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ<「コレクティブ」な活動を目指す（”点”と”点”をつなげ、”曲線”を描き、”輪”を形成する活動）>

○女子委員会内の組織活性化

- ① 「グラスルーツ部」活動…『Primer paso de MIE Nadeshiko（プリメル・パソ・デ三重なでしこ）』の実施。県内6地域、年間累計12回開催（予定）。三重県女子サッカーの「普及」の基盤となる活動を目指す。
- ② 「フットサル部」活動…県FAフットサル委員会とのパイプ役、連携及び活動実践。
 1. サッカーとフットサル各種大会スケジュール整理・調整、参加（出場）機会を増やすための調整着手。
 2. 上記普及活動を中心とした活動支援体制の構築。
- ③ 「審判部」…FA審判委員会との連携強化（各種講習会の単独実施、上記普及活動への参加等）。
- ④ 「技術部」…県FA技術委員会と連携し、「国体 少年女子（U-16）」に向けた育成支援および活性化。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

○「普及」と「育成」のすみ分け定着

- ・2019年度まで、「普及」の意味合いも色濃く残して活動を行ってきた女子カテゴリーのトレセン活動（県FA・技術）を明確に「育成」として昨年度確立し、女子委員会による「普及」活動とのすみ分けを実現。→トレセン活動における一定の成果実現。
- ・グラスルーツとしての広い裾野に向けた土壌づくりに着手。
（女子委員会をネットワークとしたFA関係各部署との連携をさらに深める。）

○各関係組織への協力

・限られた環境の中、そのために必要な協力依頼を、三重県FAはもちろん、自治体や学校関係、またクラブ等にも働きかけて取り組んでいく。

○全国大会の開催

・『JFA 第25回全日本U-15女子サッカー選手権大会』開催。

【今後の目標】

<『「みんな”で”」取り組む環境づくり』の継続>

2030年の競技人口約15%増、約900名を目指す。また、全体男女比率を12%（6.1%／2020年度）、指導者数10%（4.2%／2020年度）を目指していく。

競技人口の増加は、「競技（スポーツ）として」、また「シーズンスポーツとして」、そして「生涯スポーツとして」の環境づくりを継続して積み重ねていくことが重要である。WEリーグを目指すクラブ、なでしこリーグに所属するクラブ、その参入を目指すクラブ、選手の育成を大切にするクラブ、普及の重要性を切実に唱える指導者やサッカー関係者。三重県全体を見ると、どこをとってもそれぞれ「みんな”が”」努力し貢献していることが伺える。こうしたそれぞれの力を、日本の「サッカーファミリー」へとつなげていくために、まずはそれを「みんな”で”」取り組む環境にしていけることが、継続して今後の目標となる。

残念ながら、「三重とこわか国体」「三重とこわか大会」2021年度開催中止が決定。開催県として普及をアピールする機会はなくなったが、新たな機会を模索し、こうした機会も何らかのチャンスと捉え、今後も引き続き三重県女子サッカーの普及をアピールしていきたい。



普及コーディネーター取り組み事例紹介④

岐阜県

今井 豊さん

【各FAでのサッカーファミリー拡大にむけた現状と課題(フェスティバル等)】

今月、女性限定新規4級審判講習をようやく開催することができ、多くの審判がうまれました。

今後は審判の資格を取って終わりではなく、上級審判との交流やフェスティバルなど経験を積める機会を増やし、審判の楽しさを知り長く続ける事ができる環境整備が必要となります。

【普及コーディネーターの活動として特に重点的に取り組んでいること(フェスティバル等)】

テーマ＜『あそこに行けば、サッカーができるよ！』という環境づくり＞

『あそこに行けば、サッカーをすることができるよ！』『たまたま来たらサッカーをしていて、体験もできちゃった！』『サッカーって楽しいね！』そんな声がいろいろな所（主にSNS）や年代から聞こえ多くの方がサッカーに触れる環境をつくりたい。

そのためにも昨年岐阜県美濃加茂市（清流里山公園）で行ったフェスティバルを単発のイベントではなく定期開催できないものか（年齢にあったゲーム・自由にサッカーを楽しむ）関係各所に意見交換を計画、立案を行っている。

【FA、自治体、クラブ等との関わり】

上記を開催するためにも、女子サッカーや各チームの認知を高めるためにも運営のお手伝いを女子委員会や各クラブチームにお願いをしたいと思います。また審判部によるクイズ形式のルールを楽しく学べる場、インソール会社によるスパイクや普段使いの靴などアドバイスがもらえる場、トレーナーによる体の動かし方が学べる場などサッカーに関わるすべてのことが体験・学べる環境をつくることで多くの自治体やクラブ地元企業などと関わり大きな流れができるのではと思います。さらに子どもがいるお母さんも参加できるように託児所（保育士さんや大学の保育過程の生徒さん）を作り参加しやすい環境づくりも必要かと思われます。

【今後の目標】

5年以内に県内各所で経験・未経験問わず、飛び入り参加も可能な定期開催するプチイベントを行い、年1回清流里山公園で大きなイベントを行い女子がサッカーに触れる環境を増やす。

また内容なども固定する必要なく、『フットサル』『ブラインドサッカー』『ウォーキングサッカー』などを多岐に渡り自身にあった選択を楽しむことで、多くのサッカーファミリーを獲得できるとよい。

クリック👉

なでしこリーグ公式ホームページにて 連載企画 開始！



<http://www.nadeshikoleague.jp/serial/history/>



写真=ベースボール・マガジン社

1989年9月9日（土）
「はじまりの日」

日本で女性がサッカーをプレーすることが珍しかった時代から、女子サッカーリーグ開幕、女子ワールドカップ優勝、女子プロサッカーリーグ創設、また、女子サッカーを取り巻く環境、そして社会情勢は大きく変化してきました。

激動の日本女子サッカーの歴史を振り返ります。

連載は全22回。毎週水曜日に更新（予定）いたします。

ぜひご覧ください！

日本女子サッカーリーグ 英語版公式ホームページ 開設

<https://en.nadeshikoleague.jp/>

より多くの方々になでしこリーグを知っていただくことを目的に、英語版公式ホームページを開設しました。

なでしこリーグの試合映像、チーム・選手情報、リーグ戦開催日程・試合結果、試合実施要項、リーグの歴史等様々なコンテンツを掲載しています。これからも、積極的に国内外へ情報を発信していきます。

なでしこリーグHPのトップページの『English』をクリック👉👉



The screenshot shows the English version of the Nadeshiko League website. At the top, it features the league logo, navigation links for English and site search, and logos for sponsors like Plenus, KYORITSU, DAIHATSU, and molten. Below this, there are two main sections: 'なでしこリーグ1部' (Nadeshiko League Division 1) and 'なでしこリーグ2部' (Nadeshiko League Division 2). Each section displays a grid of match results and upcoming fixtures, including team logos, scores, and match times.



What is the Nadeshiko League?

Founded in 1989, the Japan Women's Football League, nicknamed 'Nadeshiko League', is a non-professional league for female soccer players in Japan.

Currently, there are 20 teams nationwide in this top amateur league.

The Nadeshiko League has two divisions - Division 1 with 12 teams and Division 2 with 8 teams. Each consist of a wide variety of organizations with affiliations to the Japan Professional Football League (J. League), citizen's clubs (NPOs), companies, and universities. The league is organized by the Japan Football Association (JFA) and the Japan Women's Football League, with matches held throughout Japan.

Date / Result (2021)

Division 1

Division 2

Reague

Competition Overview

Section 1 - 11

Section 1

03/27 (Sat)	13:00	 EHIME L	3 - 1	 ANGE
03/28 (Sun)	13:00	 ORCA	0 - 1	 F NITTAIDAI
03/28 (Sun)	13:00	 S SETAGAYA	4 - 0	 YAMATO S
03/28 (Sun)	13:00	 NIPPATSU	1 - 2	 NAGOYA
03/28 (Sun)	13:00	 IGA FC	4 - 0	 KONOMIYA
03/28 (Sun)	13:00	 C OSAKA SAKAI	0 - 0	 A HARIMA



IGA FC KUNOICHI MIE

Previously company-owned and formerly known as Iga UenoKunoichi Soccer Club, the currently named Iga FC Kunoichi Mie celebrated its 45th anniversary this year. Kunoichi means 'femaleninja'. Winning the league's championship twice, as well as the Empress's Cup and National Sports Festival three and four times respectively, it hopes to rise once again as an experienced team. The team maintains close ties to the community by participating in a wide range of events and activities, with the belief that building these connections not only grows its reputation but helps manage and strengthen the team. The club's current goal is to join the Japan Women's Empowerment Professional Football League and become a team that represents female soccer in Japan.

 1 TAKESHITA Kanasa 2002.10.21 167cm 59kg	 2 TSUNEDA Nana 1998.08.24 159cm 52kg	 3 HIGASHI Natsuki 1997.07.06 161cm 60kg	 4 SUZUKI Chihiro 1997.04.25 155cm 49kg	 5 NISHIKAWA Asuka 1992.04.22 166cm 53kg
---	---	---	---	--

節	開催日	キックオフ	HOME		AWAY	スタジアム
第19節	09/25（土）	13:00	伊賀 F C	-	オルカ	上野
	09/25（土）	13:00	コノミヤ	-	愛媛 L	JG堺S1
	09/26（日）	13:00	ニッパツ	-	F日体大	ニッパツ
	09/26（日）	13:00	大和 S	-	C大阪堺	大和
	09/26（日）	14:00	S世田谷	-	アンジュ	味フィ西
	09/26（日）	14:00	名古屋	-	Aハリマ	G F中池
第20節	10/02（土）	11:00	Aハリマ	-	大和 S	ウインク
	10/02（土）	13:00	名古屋	-	S世田谷	メドウ
	10/02（土）	13:00	C大阪堺	-	伊賀 F C	ヨドコウ
	10/03（日）	13:00	アンジュ	-	ニッパツ	広島ス
	10/03（日）	13:00	愛媛 L	-	F日体大	愛媛球
	10/03（日）	13:00	オルカ	-	コノミヤ	鴨陸
第21節	10/09（土）	13:00	C大阪堺	-	コノミヤ	ヤンマー
	10/09（土）	13:00	愛媛 L	-	名古屋	愛媛球
	10/10（日）	13:00	オルカ	-	アンジュ	鴨陸
	10/10（日）	13:00	伊賀 F C	-	F日体大	上野
	10/10（日）	13:00	ニッパツ	-	大和 S	ニッパツ
	10/10（日）	14:00	S世田谷	-	Aハリマ	A G F
第22節	10/17（日）	13:00	F日体大	-	オルカ	ニッパツ
	10/17（日）	13:00	大和 S	-	S世田谷	大和
	10/17（日）	13:00	名古屋	-	ニッパツ	G F中池
	10/17（日）	13:00	Aハリマ	-	C大阪堺	五色台
	10/17（日）	13:00	アンジュ	-	愛媛 L	ミットヨ
	10/17（日）	13:00	コノミヤ	-	伊賀 F C	未定

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	 伊賀 F C くノ一三重	44	18	14	2	2	45	13	+32
2	 日体大 FIELDS 横浜	32	18	10	2	6	21	22	-1
3	 スフィダ世田谷 F C	31	18	9	4	5	36	22	+14
4	 セレッソ大阪堺レディース	28	18	7	7	4	35	23	+12
5	 ニッパツ横浜 F C シーガルズ	27	18	7	6	5	29	21	+8
6	 愛媛 F C レディース	25	18	7	4	7	21	32	-11
7	 A S ハリマ アルビオン	22	18	5	7	6	21	21	0
8	 オルカ 鴨川 F C	21	18	5	6	7	16	21	-5
9	 N G U ラブリッジ名古屋	20	18	5	5	8	20	25	-5
10	 コノミヤ・スペランツァ大阪高槻	18	18	4	6	8	22	30	-8
11	 アンジュヴィオレ広島	14	18	3	5	10	20	40	-20
12	 大和シルフィード	12	18	2	6	10	19	35	-16

節	開催日	キックオフ	HOME		AWAY	スタジアム
第12節	09/25（土）	13:00	湯郷ベル	－	つくば	津山
	09/26（日）	11:00	a c 福島	－	NORD	時之栖裾
	09/26（日）	12:00	バニーズ	－	静岡	敷島補助
	09/26（日）	12:00	福岡 A N	－	吉国大 C	ベススタ
第13節	10/02（土）	12:00	静岡	－	湯郷ベル	ゆめりあ
	10/02（土）	13:30	つくば	－	吉国大 C	ひたちな
	10/02（土）	14:00	a c 福島	－	バニーズ	時之栖裾
	10/03（日）	11:00	NORD	－	福岡 A N	札幌厚別
第14節	10/10（日）	13:00	バニーズ	－	つくば	敷島
	10/10（日）	13:00	湯郷ベル	－	a c 福島	A x i s
	10/10（日）	13:00	吉国大 C	－	NORD	高梁神原
	10/10（日）	13:00	福岡 A N	－	静岡	未定

〔第11節終了時点の順位表〕

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	 バニーズ群馬 FC ホワイスター	27	11	8	3	0	32	9	+23
2	 JFA アカデミー福島	24	11	7	3	1	34	8	+26
3	 静岡 S S U アスレジーナ	24	11	7	3	1	25	9	+16
4	 福岡 J・アンクラス	18	11	6	0	5	15	22	-7
5	 ノルディーア北海道	14	11	4	2	5	12	12	0
6	 つくば FC レディース	10	11	3	1	7	10	22	-12
7	 岡山湯郷 Belle	4	11	1	1	9	8	31	-23
8	 吉備国際大学 Charme 岡山高梁	4	11	1	1	9	8	31	-23

※なでしこ2部のリーグ戦再開は9月25日（土）～です。

2部のリーグ戦も残すところあと3節。首位のバニーズは2位・a c 福島と3位・静岡との直接対決があり、優勝の行方は最終節まで見逃せない混戦模様。

第32回オリンピック競技大会(2020/東京)サッカー競技 女性審判員3名の参加報告

第32回オリンピック競技大会(2020/東京)サッカー競技においてアポイントされた女性審判員3名(山下良美主審、坊蘭真琴副審、手代木直美副審)について、以下の試合を担当したことをご報告いたします。ご注目、ご声援ありがとうございました。

日時	会場	対戦	担当
グループステージ 2021年7月21日(水) 17:30キックオフ	東京/ 東京スタジアム	スウェーデン女子代表 対 アメリカ女子代表	主審: 山下良美 副審: 手代木直美 副審: 坊蘭真琴
グループステージ 2021年7月27日(火) 20:30キックオフ	埼玉/ 埼玉スタジアム2002	ブラジル女子代表 対 ザンビア女子代表	主審: 山下良美 副審: 坊蘭真琴 副審: 手代木直美
ノックアウトステージ (準々決勝) 2021年7月30日(金) 20:00キックオフ	神奈川/ 横浜国際総合競技場	オランダ女子代表 対 アメリカ女子代表	第4審: 山下良美

WEリーグ開幕! 担当審判員の準備も完了!

2021年9月12日(日)、日本初の女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」が開幕しました。

このWEリーグでは、全試合女性審判員(女子1級審判員)が担当してリーグを支えます。

この開幕を迎えるまでに、担当するにふさわしい審判員としてスキルやマインドの向上につながる研修会やトレーニングを積み重ねてきました。特にトレーニングでは近隣の高校男子サッカー一部の皆さまなどにご協力いただきながら、Jリーグでも使用しているコミュニケーションシステム(審判員間で会話のやりとりができる無線機)の実践トレーニングを繰り返し、万全の状態で試合に臨めるよう準備を進めてきました。

選手の皆さんがよりピッチで輝き、観客の皆さんがよりサッカーを楽しめるよう、審判員たちも12番目のチームとなってリーグを支えていきます。

各クラブや試合へのご声援はもちろんのこと、試合を支える審判員たちへの応援も、よろしくお願いします!



コミュニケーションシステムの実践トレーニング。実際の試合を通して審判員同士の意思疎通に慣れていきます。



トレーニング後はインストラクターを中心に必ず振り返りを行い、改善点等を次に活かせるようにします。

なでしこひろば



【開催の様子をご紹介します】

◆FC KAISHIN（東京都）8月1日（日）

8月1日（日）開催のなでしこひろば in 練馬 Game festivalについてご報告します。

参加者は21名。当日はミニゲーム中心で行いました。4年生、5年生は3チームで試合。1～3年生は2チームで試合をしました。

暑い中みんなで楽しみました。普段は他チームで対戦している子も参加してくれて、交流が深まりました。また、今回のなでしこひろばを機にKAISHINに入会してくれた子どももいて、今回のなでしこひろばは、盛況でした。



◆UNITE新潟FC（新潟県） 8月21日（土）

8月21日（土）に行われた、JFAなでしこひろばの様子をお知らせします。

UNITE新潟FCでは、令和2年8月から毎月1回JFAなでしこひろばを新潟市で開催しています。新潟市以外から参加してくれる女の子もいて、参加人数が多い時は、年長さんから6年生迄の女の子が30名以上になりました。

今回はコロナの感染者の増加もあり、10名にも満たなく少ない人数での開催でしたが、いつも通り消毒や練習以外のマスク着用を徹底して楽しみました。

パパさんママさん達にも参加してもらい、バウンドリフティング、ボールタッチ、パス回しなど基本のアップを行った後は、サッカー未経験でも楽しめるウォーキングサッカーを行いました。まずはウォーキングサッカーで試合の雰囲気味わってもらい、その後はフットサルで元気に走り回ってもらい気持ちのいい汗をかいてくれました。

今までの開催において、初めてサッカーをする女の子の参加も多いですが、この参加をきっかけに、サッカーを続けてくれる女の子も多く、女子サッカーの普及活動にも役立っていると思っています。



【なでしこひろばデータをまとめてみました】

全国都道府県別認定団体数及び2021年8月開催申請数

都道府県	団体数	開催申請数	都道府県	団体数	開催申請数
1 北海道	15	4	25 滋賀県	7	4
2 青森県	5		26 京都府	8	5
3 岩手県	5	6	27 大阪府	18	2
4 宮城県	10		28 兵庫県	10	
5 秋田県	3		29 奈良県	3	
6 山形県	2		30 和歌山県	3	
7 福島県	2		31 鳥取県	5	1
8 茨城県	9	2	32 島根県	1	
9 栃木県	16	4	33 岡山県	10	1
10 群馬県	5		34 広島県	9	
11 埼玉県	35		35 山口県	2	
12 千葉県	11		36 香川県	6	
13 東京都	58	3	37 徳島県	4	4
14 神奈川県	24		38 愛媛県	3	
15 山梨県	6		39 高知県	2	
16 長野県	11	8	40 福岡県	13	1
17 新潟県	7	2	41 佐賀県	6	1
18 富山県	4	3	42 長崎県	6	
19 石川県	6	10	43 熊本県	4	
20 福井県	5	2	44 大分県	5	
21 静岡県	11	8	45 宮崎県	3	1
22 愛知県	20	4	46 鹿児島県	2	
23 三重県	10		47 沖縄県	8	
24 岐阜県	5		合計	423	76

地域別認定団体数

北海道	15カ所
東北	27カ所
関東	164カ所
北信越	33カ所
東海	46カ所
関西	49カ所
中国	27カ所
四国	15カ所
九州	47カ所
【合計】	423カ所

【2021年8月データ】

- ・全国登録団体数 : 423団体
- ・新規登録団体数 : 0団体
- ・認定団体数の全国トップ3
 - 1) 東京都 (58団体)
 - 2) 埼玉県 (35団体)
 - 3) 神奈川県 (24団体)
- ・全国開催申請数 : 76開催
(7月開催申請数は81開催、5開催減)

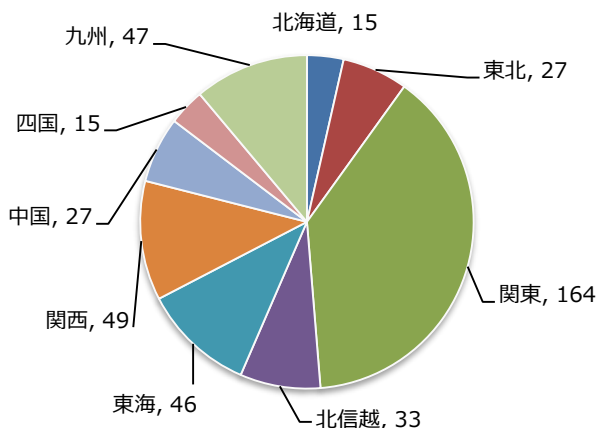
朝晩の風に、秋の気配を感じるようになりました。サッカーをはじめ、スポーツをするにはいい季節のはずが、緊急事態宣言の延長など、感染者数は減ってきてはいるものの、依然として厳しい状況が続いています。8月は新規の登録団体様がなく、開催申請数も減少傾向、ご申請いただいた開催も中止のご連絡をいただくことが多くなりました。

ワクチン接種も広がってきてはいるようですが、皆様も、引き続きお気をつけてお過ごしください！

【事務局の受け付けが変更になりました】

2021年4月から、なでしこひろば事務局の受け付け・お問い合わせ方法をメールのみの対応とさせていただきます。これまでの電話受け付けがなくなり4月1日以降はメールのみの対応とさせていただきます。各団体様にはご不便をおかけいたしますが、何とぞご了承のほど重ねてお願い申し上げます。

E-mail : info@nadeshikohiroba.jp
(今までのアドレスと変更ありません)



<http://www.jfa.jp/nadeshikohiroba/>

※次回は2021年10月12日（火）ごろ配信予定です。お楽しみに！